

## 南区 地域情報発信

## インタビュー

南区の宝となるモノや話題、地域で活躍している方をピックアップ!



## Iターンで、名古屋から新飯田に、移住! 『いろどり農園』川瀬さんにインタビュー

2012年に名古屋市から新潟市へIターン就農し、新飯田地区でブドウを中心に果樹を栽培している、川瀬量哉さんにお話をうかがいました

**Q** サラリーマンから農業に転職した理由は?

**A** もともと農業に興味がありました。非農家であったため一度は諦めましたが、33歳を過ぎた頃から、農業をどうしても諦めきれず、妻と話し合い挑戦することにしました。

**Q** どうして新潟（新飯田）を選んだのですか?

**A** 妻の実家が新潟市ということもあり、おいしい果物をいつも送ってもらっていたので、新潟で就農することにしました。

新潟県や南区産業振興課、JA、地域農家などたくさんの方々の応援もあり、グレープガーデンでの研修中に新飯田の土地が見つかり、就農することができました。今はブドウ、梨、イチジクを作っています。

**Q** 新潟（新飯田）の印象と移住して良かったことは?

**A** 冬の寒さが辛いです。空がずっと暗い感じで曇っていると思っていたら、妻に冬の新潟ではこれが晴れたよと言われて、最近やっと慣れてきました(笑)。

地域の人たちにはとても良くしてもらっています。果物作りなどいろいろ教えてもらったり、とてもありがたいです。新飯田に縁があったんじゃないかと思っています。

**Q** これからの夢は?

**A** まずはおいしくて、皆さんに喜んでもらえるような果物を作れるようになることが当面の目標です。

**Q** これから農業をやりたい方へ一言

**A** 非農家が農家になることはとても大変なことではありますが、不可能ではないと思います。

本気であれば実現できると思います。僕の場合はとりあえず少しずつ就農に向けて動き出すところから始めました(本を読んだり、セミナーに参加したり...)。とにかく最初は何でもいいので、まずは一歩踏み出しましょう。



いろどり農園

新潟市南区新飯田7357  
TEL・FAX 025-378-1877  
✉ kajyuya@gmail.com  
Facebook やってます。

取材 自治協議会委員 小杉由美子

## 白根高等学校 ヤングボランティアと イラスト部の活動について インタビュー

生徒会副会長  
3年生 田村 真季さん

今年、南警察署からヤングボランティアとして委嘱を受けた白根高校の生徒さんが行った地域の防犯啓発活動について、生徒会副会長の田村真季さんにお話をうかがいました。



**Q** ヤングボランティアでどのような活動をしましたか?

**A** 振り込め詐欺に遭わないように、寸劇での啓発活動をしました。独り暮らしの人に詐欺の電話がかかってくるという内容です。



**Q** 寸劇をやる上で一番苦労したところを教えてください。

**A** 臨場感を出すために、新潟弁で話すように工夫をしたことが大変でした。少しでも詐欺被害が減ってくれば良いという思いで取り組みました。

**Q** 今後もこういった活動があれば続けてみたいですか?

**A** はい。今回とは違った方法でも地域に役立つ活動があれば続けたいと思います。

イラスト部  
1年生 大島 光貴さん

南区自治協議会提案事業「家族ふれ愛月間」リーフレット・カレンダーの挿絵を描いてくれた白根高校イラスト部の大島光貴さんにお話をうかがいました。



**Q** 今回のイラストで工夫した点を教えてください。

**A** カレンダーなので季節に合わせたデザインをそれぞれ考えました。使っていただく皆さんが喜んでくれればうれしいです。

**Q** 将来の夢はありますか?

**A** 漫画家になりたいと思っています。

**Q** 今後も機会があれば参加してみたいですか?

**A** はい。是非チャレンジしてみたいと思っています。  
※白根高校イラスト部のその他の作品は、シロネプレッソさんに展示してあるそうです。



家族ふれ愛月間  
リーフレット・カレンダー

### インタビューより

白根高校ではその他、認知症サポーター養成講座を今年から3年間を通して学校全体で取り組むなど素晴らしい活動に取り組んでいました。インタビューに応じて頂いた田村さん、大島さんありがとうございました。

取材 自治協議会委員 市嶋洋介